

# 2023 安全報告書

アルピコ交通 安全への取り組み

## 【鉄道事業】



この安全報告書は、2022 年度（令和 4 年度）に実施した当社鉄道輸送の安全確保のための取り組みや安全の実態を取りまとめたものです。皆様のご意見・ご感想をお寄せください。

アルピコ交通株式会社

## －目 次－

|                         |       |
|-------------------------|-------|
| ■安全運行の誓い【安全報告書の公表にあたって】 | 2     |
| 1.輸送の安全確保に関する基本的な考え方    | 3     |
| 2.安全管理体制                | 4～6   |
| 3.安全確保への取り組み            | 7～10  |
| 4.事故・障害に関する報告           | 11～12 |
| 5.安全対策                  | 13～15 |
| 6.ご利用のお客様、沿線の皆様との連携とお願い | 16～18 |
| ■安全報告書へのご意見等について        | 19    |

## アルピコグループ経営理念

アルピコグループは、信州に暮らす人々とその素晴らしい自然環境を愛し  
「安全・安心」「便利」「快適」「楽しさ・ときめき」「知識」の提供を  
通じて豊かな地域社会の実現に貢献します。



## ■安全運行の誓い【安全報告書の公表にあたって】

日頃からアルピコ交通の鉄道・バスをご利用いただき、誠にありがとうございます。

また、平素は鉄道事業に対してご支援とご協力を賜り、深く感謝いたします。

2022 年度も新型コロナウイルス感染症の影響が続いたうえ、コロナ禍を契機とした行動の変容もあり、事業環境は急激に変化しましたが、本年5月から、新型コロナウイルスの感染症法上の分類が2類から5類へ変更となり、上高地をはじめとする山岳観光地では、インバウンド需要が想定以上に回復するなど、明るい兆しが見えて来ております。

近年は、自然災害が激甚化・頻発化しており、各地で大きな被害が発生しております。弊社におきましても、2021 年 8 月の豪雨により、鉄道上高地線の田川橋りょうが被災し、列車代行バスへの切り替えを余儀なくされましたが、関係者の皆様のご支援・ご協力により、2022 年 6 月に全線開通を果たすことができました。あらためて深く感謝申し上げます。

災害はいつ発生するか予測不能ですが、今回の件を教訓に、日頃よりお客様へ安全な輸送が提供できるよう社内の体制を強化してまいります。

2023 年度は、引き続き補助金制度を活用した老朽化設備及び車両更新を行い、鉄道係員の運転事故防止訓練の実施など、事故防止に向けて取り組んでまいります。

これからも、お客様をはじめ、関係者の皆様の信頼にお応えすべく、輸送の安全確保を第一に、安全管理体制と接客レベルの更なる高度化を目指し、全社員がお客様の視点に立って、誠実に業務に取り組んでまいります。

引き続きのご利用を心よりお願い申し上げます。

2023 年 6 月



アルピコ交通株式会社  
代表取締役社長

小林 史成

# 1. 輸送の安全確保に関する基本的な考え方

当社の経営理念でもある『安全・安心』なサービスの提供を第一に考え、輸送の安全を確保するための基本的な姿勢を示した「安全基本方針」及びその行動の基本となる「安全行動規範」を定め、役職員に周知・徹底し、安全輸送に努めています。

## 安全基本方針

安全第一の意識をもって事業活動を行える体制の整備に努めるとともに鉄道施設、車両及び職員を総合活用して輸送の安全を確保します。

## 安全行動規範

- ① 一致協力して輸送の安全確保に努めること。
- ② 輸送の安全に関する法令及び規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行すること。
- ③ 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めること。
- ④ 職務の実施に当たり、憶測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱いをすること。
- ⑤ 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとること。
- ⑥ 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保すること。
- ⑦ 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦すること。

## 2022 年度の安全方針・安全重点施策・行為目標

2022 年度は、次の安全方針・安全重点施策・行為目標を掲げ、全従事員に周知して目標達成に向け取り組みました。

### ◎安全方針

『安全はすべてに優先する』

～全社員がそれぞれの立場で安全で安心な輸送の提供に努め地域の方々からの 信頼に応える～

### ◎安全重点施策

『有責事故・インシデントゼロの達成』

### ◎行為目標

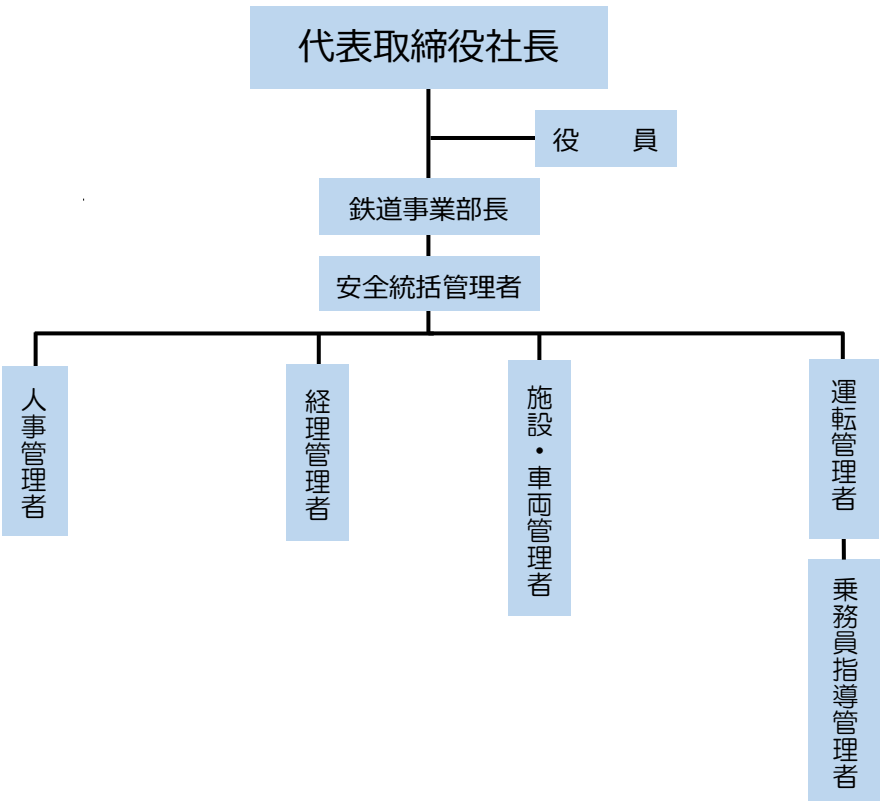
- ・事故・障害・ヒヤリハット情報等の事案分析によるリスクの洗い出しを行い、注意喚起及び実態に即した対策を講じます。
- ・安全かつ定時輸送を確保するため、安全統括管理者による巡視を行い、起こりうるリスクに対し、回避策や低減策を講じます。
- ・ヒューマンエラーに起因するリスクを回避するため、必要な知識や技能を獲得することに重点をおいた教育を確実に実施します。

## 2. 安全管理体制

### 安全の確保に関する体制

当社は、代表取締役社長をトップとする安全管理体制を構築・運用しています。この組織体制の中で、代表取締役社長や安全統括管理者、各管理者の責務を明確にしたうえで、各々が安全確保のための役割を担っています。

< 安全管理体制図 >



### 各管理者の責務

| 役 職 名    | 責 務                             |
|----------|---------------------------------|
| 代表取締役社長  | 輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。          |
| 鉄道事業部長   | 安全統括管理者と輸送の安全確保に関する業務を統括する。     |
| 安全統括管理者  | 輸送の安全の確保に関する業務を統括する。            |
| 運転管理者    | 安全統括管理者指揮の下、運転に関する事項を統括する。      |
| 施設・車両管理者 | 安全統括管理者指揮の下、施設・車両に関する事項を統括する。   |
| 乗務員指導管理者 | 運転管理者指揮の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する。 |
| 人事管理者    | 要員計画を検討する。                      |
| 経理管理者    | 予算計画、投資計画を検討する。                 |

## 経営責任者による職場巡視

経営責任者による職場巡視を定期的に行い、安全管理体制の状況を確認するとともに、職員との意見交換を実施してコミュニケーションを図っています。



経営責任者による職場巡視



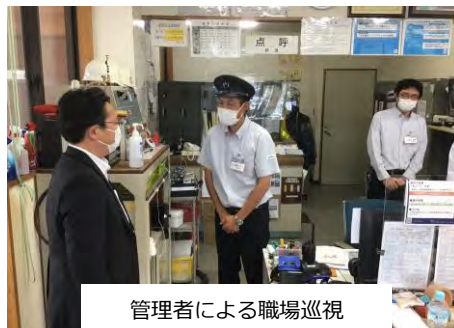
経営責任者による徒歩巡視

## 添乗指導・巡視

管理者による添乗指導及び職場巡視を定期的に行い、輸送の安全確保のための取り組み状況を確認し、輸送の安全確保の問題点等の共有・改善を図っています。



管理者による添乗指導



管理者による職場巡視

## 運輸安全マネジメント推進会議

運輸安全マネジメント推進会議を四半期ごとに開催し、輸送の状況や運転事故・輸送障害・ヒューマンエラー・ヒヤリハット事案について討議するとともに、四半期毎の行動計画を周知することにより、安全管理を実施しています。

なお、会議資料は各管理者及び運転士、駅務員が中心に作成し、わかりやすく伝わりやすい資料作りに努めています。



運輸安全マネジメント推進会議



会議資料作成作業

## 保安監査実施

鉄道事業法第56条の規定に基づく保安監査が国土交通省北陸信越運輸局により実施されました。

監査内容については、運転、車両、土木、電気の全般についての輸送の安全を確保するための取り組み状況が、適性であるかの監査でした。



オープニングミーティング



保安監査

## 内部監査の実施

安全管理体制の適合性及び有効性を確認するため、経営管理部門及び現場部門に対する内部監査を実施しています。

2022年度は、代表取締役社長及び安全統括管理者等の経営責任者に対し、インタビューによる監査を実施したほか、現場各部門については、インタビュー及び関係書類の監査を実施しました。



代表取締役社長インタビュー



安全統括管理者インタビュー

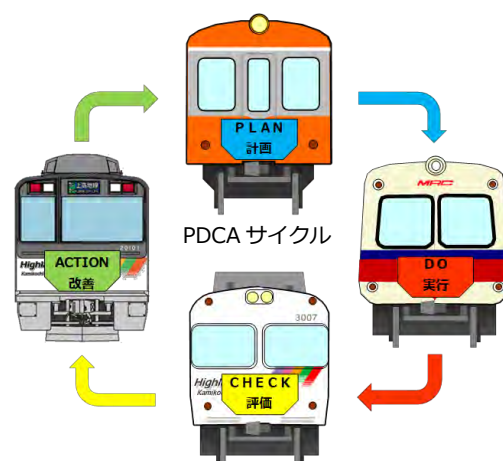
## マネジメントレビューの実施

安全管理体制が適切かつ有効に機能しているかを確認し、必要に応じて見直し・改善するため、各管理者から代表取締役社長へ実施結果報告を行っています。

安全管理体制は、計画（Plan）⇒実行（Do）⇒評価（Check）⇒改善（Act）の体制（PDCA サイクル）を維持していくことが大切です。安全管理体制については、現行の体制を是とするのではなく、常に見直し改善に取り組んでいます。



マネジメントレビュー会議



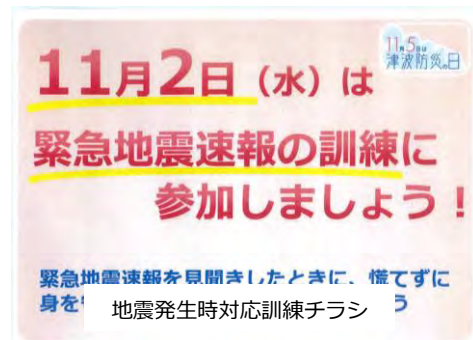
### 3. 安全確保への取り組み

#### 緊急地震速報訓練

全国で実施する緊急地震速報訓練に合わせ、速報を受信した際の安全確保のため、初動対応訓練を実施しました。



地震発生時対応訓練



#### テロ発生対応訓練

昨今発生している鉄道施設や車両内でのテロ行為への適切な対応の習熟を目的として、松本警察署、鉄道警察隊、松本広域消防のご協力をいただき、対応訓練を実施しました。



テロ発生対応訓練



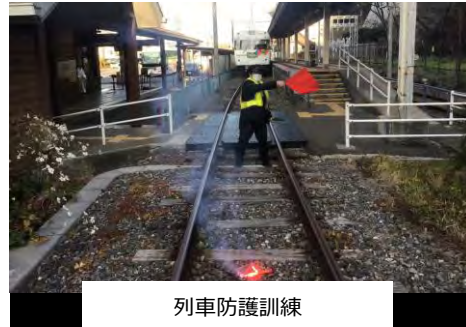
非常梯子取扱訓練

#### 異常時対応訓練

異常時が発生したときの応急処理方法等を訓練することで、緊急時に冷静かつ適格な判断・処置が行えるよう対応訓練を実施しました。



踏切故障対応訓練

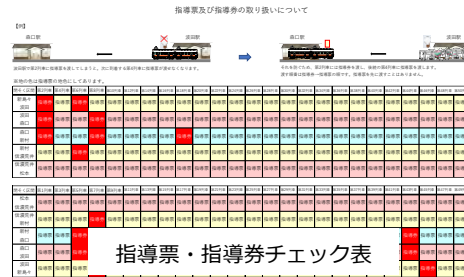


列車防護訓練

## 代用閉そく訓練

信号故障で通常の閉そく運転ができないとき、指導票や指導券を使って、閉そく区間を列車が安全に走れるよう代用閉そく（指導通信式）訓練を実施しました。

また、実際に代用閉そくを施行する際、指導票又は指導券の受領を明確化するため、チェック表を作成し、各停車場に設置しました。



## 運輸安全マネジメント制度に関する教育

運輸安全マネジメント制度の趣旨等の理解を深められるよう導入の経緯・取り組み・ヒヤリハット情報の重要性について、教育を実施しています。

また、知識やスキルを身につけるため、運転業務管理ゼミナール・内部監査ブラッシュアップセミナーの外部講習を受講しました。

## 合同安全講習会

施設保守部門では、事故や労働災害等の事例研究を行い事故防止に努めるよう協力会社を含めた合同安全講習会を開催しています。

※2022 年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、書面開催にて実施しました。

## アルコール検査

乗務開始前にアルコール検知器を使用し、酒気を帯びていないことを確認後、点呼執行者との対面点呼により健康状態の確認を行っています。



## 身体・適性検査

全鉄道従事員を対象に、定期健康診断や夜間従事者検診による身体機能の確認、精神機能検査による適性の確認を実施し、運転関係係員の資質の管理を厳正に行っています。



## ヒヤリハット情報等の収集・活用

ヒヤリハットが発生した際、速やかに報告書の作成を開始できるように、点呼台横に報告書を常時準備しているほか、報告されたヒヤリハット情報のカメラ映像を検証するとともに、四半期ごとに収集した情報を運転士自ら分類・整理を行い、発生箇所や傾向をつかむなどの分析を実施しています。

また、ヒヤリハット情報の活用事例として、「運行中、汽笛吹鳴を行なったが、雪と低温により、鳴りにくくなった」とのヒヤリハット情報では、吹き込み防止ネットの取り付けを行い、危険性の低減を図りました。



## サービス介助士

ご高齢のお客様やお身体の不自由なお客様に対して、安全・安心にご利用いただけるようサービス介助士の資格を取得しています。

また、資格の有無に関係なく、全鉄道従事員を対象にした車いす対応訓練も定期的に行っています。



## 鉄道関係功労者等運輸局長表彰

2022 年度「鉄道の日」記念式典で、鉄道事業への顕著な功績が認められ、功労者等運輸局長表彰を 2 名受賞しました。



## 各安全運動への取り組み

- |                   |                           |
|-------------------|---------------------------|
| ・春の全国交通安全運動       | 2022 年 4 月 6 日～4 月 15 日   |
| ・安全輸送・サービス向上強化旬間  | 7 月 13 日～7 月 23 日         |
| ・秋の全国交通安全運動       | 9 月 21 日～9 月 30 日         |
| ・年末年始の輸送に関する安全総点検 | 12 月 10 日～2023 年 1 月 10 日 |

各安全運動を契機に、従業員一人ひとりが各職場で何をすべきかを再考することで輸送の安全性の向上に努めるよう意識の高揚を図りました。

また、各安全運動中は、経営責任者が職場を巡視し、実施状況の確認や指示を実施しました。

各運動中の主な取り組み事項は、次のとおりです。

- ・テロ、列車妨害防止対策による車両、施設、沿線の巡回強化
- ・車両、線路設備、構造物、電気設備の点検整備
- ・利用客乗降時の監視等安全確保の徹底
- ・確実かつ厳正な点呼執行（健康状態、アルコール検査、指示事項）
- ・規程類の学習、非常・故障訓練の実施
- ・基本動作の再確認及び徹底
- ・経営責任者による職場巡視

## 4. 事故・障害に関する報告

### 鉄道運転事故

最近 3 年間に、発生した鉄道運転事故の推移。

| 年 度   | 2020 年度 | 2021 年度 | 2022 年度 |
|-------|---------|---------|---------|
| 事故件数  | 0       | 0       | 0       |
| 死傷者   | 0       | 0       | 0       |
| うち死亡者 | 0       | 0       | 0       |

### 輸送障害・インシデント（事故の兆候）

事象①：輸送障害

日時：2022 年 7 月 28 日 14 時 50 分

発生場所：新島々駅構内

概要：新島々駅構内に落雷があり、留置車両の避雷器及びパンタグラフ碍子。

運休本数：8 本

対策：落雷の恐れがあるときは車両電源を遮断する。

事象②：輸送障害

日時：2022 年 8 月 3 日 5 時 47 分

発生場所：瀏東～新島々間松本起点 13k600m 付近

概要：沿線南側斜面からの倒木と接触し、前途運行不能となった。

運休本数：20 本

対策：支障する恐れのある樹木の伐採。

事象③：輸送障害

日時：2022 年 8 月 4 日 9 時 59 分

発生場所：森口駅構内

概要：電動発電機（MG）が停止し、運行不能となった。

運休本数：1 本

対策：高経年機器の点検及び機能確認。

ご利用のお客様には、大変ご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。

### 行政からの指導

2022 年度は、行政指導はありませんでした。

## 列車妨害等の発生

2022 年度は、列車妨害行為等の発生はありませんでした。

なお、交通安全と列車妨害行為の禁止を目的として、小学生を対象とした「乗り方教室」を開催し、事故防止及び乗車マナーについて講話を実施しています。



乗り方教室



切符購入体験

## 運行状況の発信

ホームページを使用して運行状況をお知らせしております。事故や故障、災害等により運休及び遅延している時に運行情報を更新いたしますので、ご利用の際にはご確認ください。



ホームページ



運行状況ページ

## 5. 安全対策

### 新型車両 20100 形追加導入

安全性・安定性・快適性を高め、安心してご利用していただくため、第1編成の運用開始から約1年後、20100形の第2編成が営業運転を開始しました。



20100 形車両第2 編成



運行開始前イベント

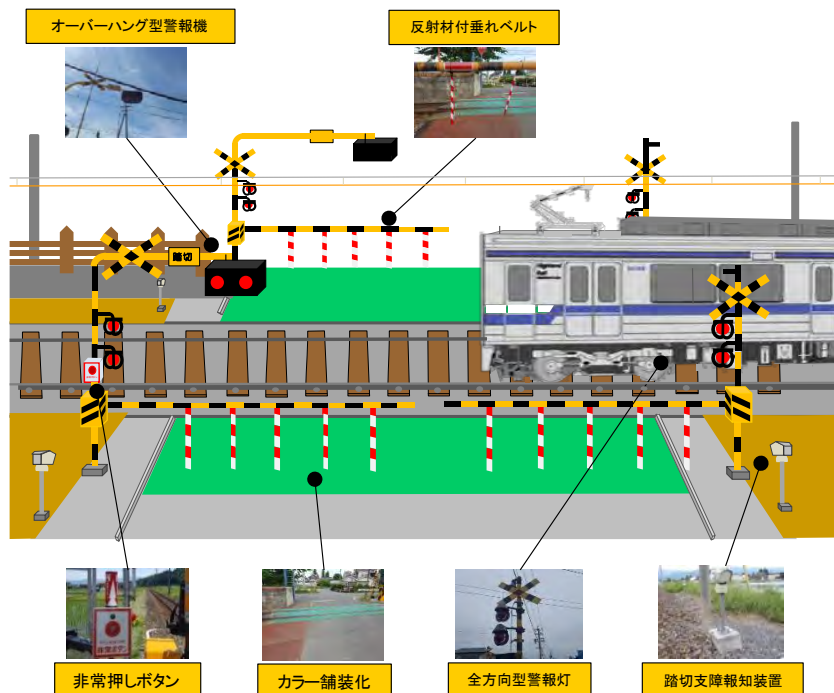
### 踏切道の安全対策

上高地線内の踏切数は53箇所あり、踏切の種別内訳は、下記のとおりです。

- ・第1種踏切道〈警報機、遮断機付き〉 47箇所
- ・第3種踏切道〈警報機付き・遮断機無し〉 1箇所
- ・第4種踏切道〈警報機、遮断機無し〉 5箇所

運転士へ踏切の異常を通報する踏切障害物検知装置及び非常押しボタンを順次設置しています。

また、道路からの視認性向上及び警報中の踏切横断の防止を目的として、全方向型警報灯、オーバーハング型警報機等の導入及び反射材付垂れベルト等を設置しています。



## 踏切事故防止啓発活動

安全統括管理者が沿線小学校の新入学生や幅員が狭く交通量が多い踏切道で、踏切安全啓発グッズを配布しました。



新入学生対象啓発活動

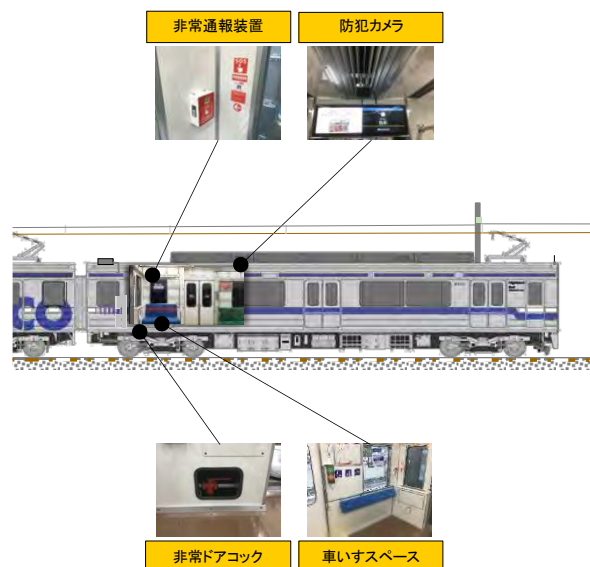
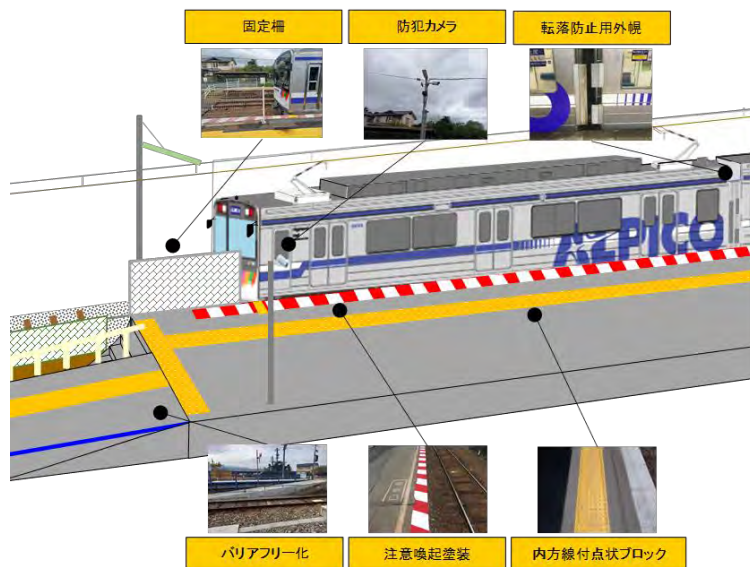


踏切道啓発活動

## 車両ホームの安全対策・バリアフリー化

お客様のホームからの転落及び列車との接触を防止するため、車両の連結部分に転落防止用外幌取り付け、ホーム端部に注意喚起塗装（縞模様）を行っているほか、固定柵の設置及び内方線付点状ブロックを整備しています。また、すべてのお客様がご利用しやすい鉄道を目指し、ホームスロープこう配の緩和や舗装のやり直しによる起伏の低減なども実施しています。

各車両には非常通報装置（SOS ボタン）が設置されています。非常事態が発生した際には、ためらうことなくボタンを押してください。



## 車両の定期検査

安全に列車を運行するため、車両は車庫での日常点検・整備のほか、定期的に分解・点検・整備を実施しています。



床下機器整備作業



運転台機能検査

## 自然災害対策

自然災害による事故を未然に防ぐため、風速計・水位計・監視カメラなどのリアルタイム情報を収集するシステムを導入し、規制値を超えた場合には列車の運転を規制して、安全を確保しています。



監視カメラ（田川橋梁）



風速計

## 駅における備蓄品

大規模災害時に帰宅が困難となったお客様への対応として、飲料水、保存食、簡易トイレを確保しています。



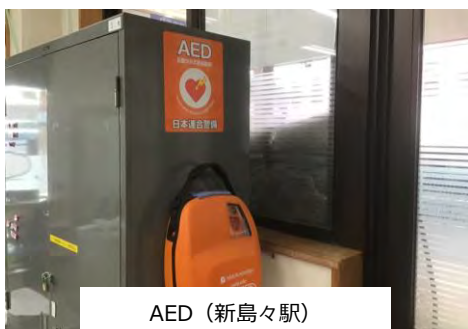
備蓄品（保存食）



簡易トイレ

## 自動体外式除細動器（AED）

心臓が心室細動を起こして心停止になった場合に、心臓に電気ショックを与えて心臓のリズムを正常に戻すための AED を車内や駅構内で心肺蘇生が必要な方を発見した係員やお客様が、速やかに救助を行えるように、一部の駅に設置しています。



AED（新島々駅）



AED（波田駅）

## 車いす対応トイレ設備

車いす使用のお客様が利用できる広さや手すり等に加えて、オストメイト対応設備の設置やスペース拡張等、車いす対応トイレ設備の充実を進めています。



車いす対応トイレ



オストメイト対応設備

## 6. ご利用のお客様、沿線の皆様との連携とお願い

### 田川橋りょう復旧

2021 年 8 月の豪雨により、田川橋りょうが被災し、一部区間が運行出来なくなるという事態となりましたが、地元の松本市をはじめ国や県などからのご支援を賜り、2022 年 6 月 10 日に全線開通の運びとなりました。

ご支援いただいた皆様、ご協力いただいた皆様、復旧工事に携わっていただいた関係各位に感謝申し上げます。



運転再開式典



田川橋りょう

### テロや列車妨害行為等防止へのご協力とお願い

テロや列車妨害行為の防止を目的として、列車内・駅構内・沿線の巡回等を強化するとともに、駅構内や列車内に防犯カメラを設置することで、鉄道輸送の安全確保に努めています。

不審物や不審者等を見かけたときは、係員又は警察へ通報をお願いします。



待合室防犯カメラ



車内防犯カメラ

### 踏切通行時のお願い

踏切への無理な進入による遮断かんの折損や踏切内での停滞等が発生しています。踏切事故防止のため、道路交通法に則り踏切の手前では、必ず一旦停止の上、左右を確認していただくとともに、警報機が鳴り始めましたら踏切内へ進入しないよう皆様のご協力をお願いします。踏切内及びその周辺で異常・非常事態が発生した際は、踏切支障報知装置の非常押しボタンを強く押してください。

なお、踏切支障報知装置が未設置の踏切で異常・非常事態が発生したときは、速やかに新島々駅【TEL 0263-87-3166】までご連絡をお願いします。



踏切支障報知装置



緊急連絡先ステッカー

## 線路沿い近接工事

鉄道線路沿いには、高圧電線等が架設されており、電線に接触すると人命にかかわるほか、列車の運休や遅延等が発生し、多くの皆様へのご迷惑となります。

また、感電事故だけでなく線路脇物品の倒壊や鉄道施設の損傷等により、列車の運行に多大な支障をきたす恐れがあります。

上高地線の近くでの工事をご計画される施主・施工者の皆様におかれましては、お早めにアルピコ交通(株)鉄道事業部【TEL 0263-26-7311】までご連絡をお願いします。



近接工事



列車見張員

## 安全確保のための作業

鉄道の安全を支えていくためには、施設・設備の日常のメンテナンスが不可欠であり、列車を運行していない夜間等に、作業を行うことがあります。

それらの実施により沿線の皆様には、ご迷惑をお掛けする場合がございますが、鉄道の安全確保に欠かせない作業であることをご理解いただきますとともに、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



夜間軌道整備作業



まくらぎ交換作業

## 倒木災害防止のお願い

木が線路に倒れこむと列車の運休、電線が切断するなど施設被害が発生します。私有地の樹木が原因で事故や障害が発生した場合、当社から地主様に復旧費用を請求しますので、樹木管理の徹底をお願いします。

なお、伐採作業時に木が線路側に倒れる場合がありますので、線路の近くで伐採する時は、アルピコ交通(株)鉄道事業部【TEL 0263-26-7311】までご連絡をお願いします。



私有地山林からの倒木



支障木伐採作業

## 新型コロナウイルス感染症対策

お客様に安心してご利用いただくため、お客さまが触れやすい、つり革、手摺り、座席、運賃箱等のアルコール消毒や駅務員・運転士全員のマスク着用及び体温測定による健康管理を実施しています。



車内消毒作業



体温測定

## こども 110 番の駅

日本民営鉄道協会等と連携し、登下校時の安全を確保するため、助けを求めてきた子供を保護する『こども 110 番の駅』（波田駅・新島々駅）の取り組みを実施しています。



こども 110 番の駅（新島々駅）



## お客様の声

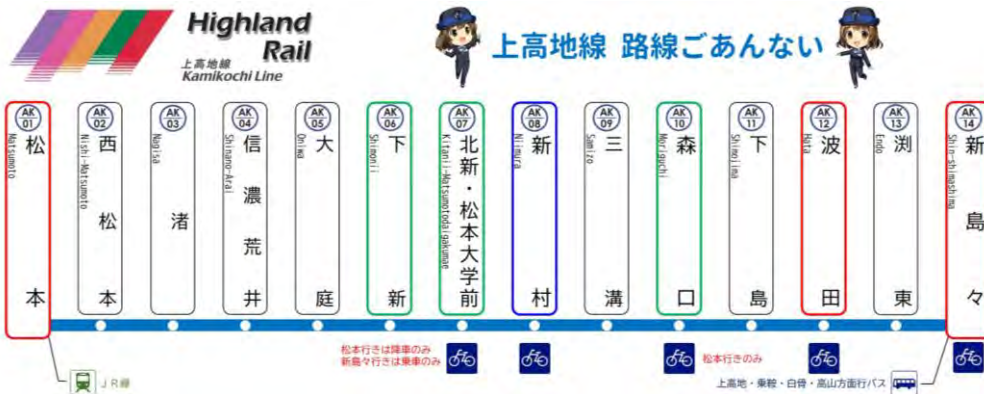
当社ホームページ等でお客様のご意見を承っています。頂戴したご意見は、CS 担当社員を中心としてお客様の声会議で展開し、マナー啓発ポスター作製等に役立てています。



お客様の声会議



マナー啓発ポスター



## ■安全報告書へのご意見等について

ご感想、当社の安全への取り組みなどに、対するご意見をお寄せください。

下記のほか、駅窓口や列車内に備付けの「お客様の声はがき」でも承っています。

アルピコ交通株式会社 鉄道事業部

TEL : 0263-26-7311 (直通)

■ 9:00~17:00 (土日祝日を除く)

お問い合わせフォーム : <https://www.alpico.co.jp/traffic/contact/>

発行 アルピコ交通株式会社  
鉄道事業部

発行日 2023年7月発行